

第27回 淑楓祭 レポート

2002.11/3sun・4mon



中国風にイメージされた正門(長久手キャンパス)



ダンスパフォーマンス



盛り上がるミュージックステージ



後夜祭で賞品発表!

過去最高 7000人を超える来場者

150人の大学祭実行委員 力の結晶

第27回淑楓祭が、11月3日と4日の2日間、長久手キャンパスと星が丘キャンパスで開催されました。今年のテーマは「極」この言葉には、来場者の方々に満足できるまで淑楓祭を感じていただく、実行委員皆が力を出し切った満足のいくものを作り上げていこう、という誓いの意味が込められています。大学祭当日は、両日とも快晴に恵まれ、多くの来場者でキャンパスは賑わいました。また、2日目には、入試広報課によるオープンキャンパスも行われ、本学を志願する多くの高校生も訪れました。

今年で27回目を数える淑楓祭は、長久手キャンパス5311人、星が丘キャンパス1810人、合計7121人の来場者があり、昨年の4756人を大幅に上回る盛大な催しになりました。企画内容も益々充実し、ゼミ・学会企画、ライブ、模擬店、フリーマーケットなど多彩な催しが繰り広げられ、大勢の人々を魅了しました。エクスプレッションセンター前のメインステージでは、本学クラブによる活動成果の披露のほか、大学祭

の目玉となる、吉本興業の若手お笑い芸人「によるライブが開催され、超満員となった会場は、急遽来場者に危険のないよう万全の警備体制が敷かれるなど熱気で渦巻きました。

正門から入ったキャンパス中央通りは、淑市」と名づけられ、フリーマーケットの店がところ狭しと並び、古着やアクセサリー、雑貨などが廉価で売られ、多くの買い物客で通りは埋めつくされました。また、各クラブによる催し

やゼミ活動の成果も展示されました。学会活動では、韓国舞楽、留学生とのデパートなどを催した、言語表現プロジェクト言語コミュニケーション学科主催)、現代社会学会による「パネル展」なども開催され、大学ならではのアカデミズムの世界に触れることもできました。7号棟1階のソシオメディアセンターでは、ゼミ企画によるプロジェクトも行われ好評でした。話題となっている環境問題では、環境保護団体クラブ「V.I.V.R.E



着ぐるみも歓迎



ストリートダンス

フリーマーケット



「ビブル」が積極的にゴミ回収に協力し、模擬店では紙皿を使わずプラスチックの皿を使用し、使用後は、その皿を回収、洗浄して再度使用するD・R・P・ディッシュ・リターン・プロジェクト」というシステムを利用し、ゴミの減量に努めました。その姿は、彼らの環境問題に対する意識の強さを感じさせました。

最終日の夜は、後夜祭が行われ、模擬店の人気ナンバーワンを決める「淑一番星」や韓国旅行の当たる抽選、またテレビで人気の「葉は隊」も登場し、最高の盛り上がりとなりました。祭りの締めくくりにして、グラウンドで花火が夜空に舞い、長久手キャンパスの祭典は幕を閉じました。

一方、星が丘キャンパスでは、野外ステージでのアマチュアバンドによる演奏のほか、大須大道芸人によるパフォーマンスやクイズダンスなどが催されました。記念会堂で行われた「笑福亭鶴瓶トークショー」では、鶴瓶が多くの観客を笑いの渦に巻き込みました。

その他、教室では、ゼミ・学会・クラブの企画が催され、企画内容も文化創造学部生らしく創造的で、彼らの柔軟な発想により星が丘キャンパスの大学祭は昨年以上の盛り上がりとなりました。中夜祭では、抽選会やダンスがあり、参加者全員で星が丘キャンパスの大学祭を楽しみました。

今後、愛知淑徳大学の正課・正課外の活動を学内外に広く伝え、地域の方々とより一体となった大学祭となるよう活動して行くことが期待されます。